

県政ネットワーク

県政ネットワーク
 発行者発行人 田中ただみつ
 所在地 〒633-2166 宇陀市大字陀迫間51-3
 電話 0745-83-1188 F AX 0745-83-3272
 携帯電話 090-1440-3444
 ホームページ http://www6.ocn.ne.jp/~tadamitu/
 E-mail tadamitu@sweet.ocn.ne.jp

田中ただみつ議員 一般質問の理事者答弁

6月15日

先月号でお知らせしました一般質問に対し、今回は、理事者側の答弁をお知らせします。また、今回役員改選等がありましたので、報告させていただきます。



議員お述べのとおり、宇陀市内には整備後20年程経過している二つのごみ焼却施設があることから、これらの施設の整備方針を含め将来のごみ処理計画を構築する必要があります。このような状況のもと、宇陀市、曾爾村、御杖村の3市村が、平成24年度から県が進める奈良モデルとして、広域化の検討に着手されたところ。平成26年12月には、知事が顧問となり、宇陀市長を会長とする関係3市村長による「宇陀地域ごみ処理広域化推進協議会」が設立され、現在、その具体化に向けた検討が進められています。

〈景観・環境局長答弁〉 ごみ処理の広域化につきまして

今後は、こうした調査結果を基礎としながら、これまでの検討過程での議論を踏まえ、広域化に向けた協議が進められるものと考えており、県といたしましては、出来るだけ早期に実現できるように、引き続き、実務面での技術的な支援をしてみたいと考えています。



村長サミットで議論をスタートさせ、県内のごみ処理施設の現状や広域処理による行財政運営上の効果等について認識の共有を図り、主体的に取り組まれる市町村に対

しては、奈良モデルとして積極的に支援しているところ。議員お述べのとおり、宇陀市内には整備後20年程経過している二つのごみ焼却施設があることから、これらの施設の整備方針を含め将来のごみ処理計画を構築する必要があります。このような状況のもと、宇陀市、曾爾村、御杖村の3市村が、平成24年度から県が進める奈良モデルとして、広域化の検討に着手されたところ。平成26年12月には、知事が顧問となり、宇陀市長を会長とする関係3市村長による「宇陀地域ごみ処理広域化推進協議会」が設立され、現在、その具体化に向けた検討が進められています。

②アニマルパークについて

〈南部東部振興監答弁〉

うだ・アニマルパークにおける「いのちの教育」の充実と地域振興への貢献について併せてお答え申し上げます。

うだ・アニマルパークは、犬・猫の保護や引取りなどを行う「動物愛護センター」としての機能だけではなく、動物とのふれあい体験や動物をとおして命の大切さを学ぶ「いのちの教育」の実践施設として、また、地域振興の拠点としての役割を担い、平成20年4月に開園いたしました。まず、動物とのふれあい体験や動物をとおしての命の大切さを学ぶ「いのちの教育」につきましては、昨年度、校



外学習や遠足で来園していただきました178団体、1万人近い子どもたちに受講いただきました。開園以来約5万人に受講いただいております。併せて、県内小学校45校をモデル校に指定して、専門の教員による出前授業を実施しております。

「いのちの教育」をさらに推進し発展させるなど子どもたちの健全育成を目指すものとして必要と考えております。

このため、今年度は、「いのちの教育」で子どもたちが感じたこと、考えたことの発表内容をとりまとめ、家庭にお知らせすることで、ご家族に「いのちの大切さを学ぶこと」への関心を高めていただくきっかけづくりに取り組むほか、「人間と動物とのつながり」や「人間が動物にできること」など「いのちの教育」に関連した問題を家族で考えて答えを出す「ファミリークイズラリー」を実施することとしております。

続きまして地域振興の面では、動物と直にふれあえる様々な体験型のイベントや、地域の方々にもご協力いただき季節ごとの特色あるイベントを充実して参りました。その結果、開設当初約7万人であった来園者数は、昨年度は23万8千人となっております。

周遊観光の取組では、従来から①東部市町村と協力したマップの作成、②大手旅行雑誌への掲載、③周辺観光施設のパンフレットの配布、④イベントの記念品としまして、周辺観光施設の割引入場券の配布などを行って参りましたが、今後はこれら事業の充実に加え、旅行会社や周辺市町村、地元関係団体と連携しまして、①うだ・アニマルパークと周辺の物販施設や観光スポットを組み込んだバスツアーの企画、②うだ・アニマルパークを中心とした周辺街並みイラストマップの作成、③周辺市町村や関係団体とのタイアップイベントの実施などに取り組み、うだ・アニマルパークの賑わいを、宇陀市はもとより周辺地域のさらなる活性化につなげて参りたいと考えております。

③訪問看護ステーションについて

〈健康福祉部長答弁〉

介護が必要になっても、住み慣れた自宅で暮らし続けら

れるようにするには、医療と介護が連携した「在宅医療・在宅ケア」の提供は不可欠です。そして、この在宅医療・在宅ケアを推進するうえで、要介護者の在宅生活を支える、いわゆる「訪問ステーション」の充実が、大変重要な取組課題と認識しています。

このため県としては、「在宅医療・在宅ケア」を支える看護職員の確保や、訪問看護等の提供体制の整備に取り組んでいるところです。具体的には、これまで、訪問ステーションの少ない中山間地域等での設置を促進するため、新規に開設しようとする事業者に対する相談対応のほか、潜在看護師等を対象に復職支援に取り組んでいます。

このような取組に加えまして、本年度は新たに、県内5つの医療圏ごとに「基幹的訪問ステーション」を指定し、利用者のニーズに応じたサービス提供の調整や、複数の訪問ステーション間のコーディネートなどを実施します。また、訪問看護サービスの提供体制が不十分な地域を対象にサテライト拠点の設置を促進します。さらに、訪問ステーションをはじめ病院やケアマネージャーなど、在宅療養を支援する関係者による連携会議や合同研修会を開催することなどに取り組んでいます。

このような取組を着実に実施するとともに、引き続き、「奈良県訪問看護ステーション協議会」等の関係者と連携し、関係機関や他職種による連携体制の構築や人材の確保・育成など、訪問ステーションの充実に取り組んでまいります。

④障がい者スポーツの振興について

〈健康福祉部長答弁〉

障害者スポーツの振興は、障害のある人の自立、生きがいづくりや社会参加を促進するとともに、障害や障害のある人への県民の理解を促進し、障害のある人となし人との交流を深めるなど、大変重要な取組課題であると考えています。

このため、県としては、障害のある人がスポーツを行う目標やきっかけとなるよう、毎年、奈良県障害者スポーツ大会を開催しています。今年も、障害の種別や程度に応じ





特に、ICTは、遠隔地の合同授業に活用することで、小規模校や少人数学習級が抱える課題に対して有効です。昨年度から、県内5市村の学校間をICTで結び、特定の教科で遠隔合同授業を実施しています。

学校教育において、ICTの活用は、分かりやすい授業を展開するための指導方法の1つとして有効であり、また、ICTを活用して校務の情報化を進めることで、子どもの学習履歴など様々な情報の共有化によるきめ細かな指導や校務の効率化が可能になると考えています。

⑤教育環境向上のためのICT活用について

また、昨年度より、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、陸上と水泳競技においてパラリンピックを目指すタレント発掘イベントを実施しています。引き続き、このような取組を充実させながら、障害者スポーツの振興に努めてまいります。

議員お述べの、競技用車椅子などのスポーツ用具に関する支援等については、奈良県障害者スポーツ協会と連携し、まずは、貸出できる用具や手続の周知に取り組みとともに併せて、他府県の動向等も参考に、適切な支援等の研究に取り組みまいります。

さらに、障害者スポーツの裾野拡大を目指して、障害児を対象とした野球や水泳などのスポーツ教室の開催や、障害のある人の施設使用料の減免などにも取り組んでいるところでです。

また、陸上、水泳など全8種目、千人を超える選手の参加のもと開催しました。秋には、その参加者の中から団体と合わせて開催される全国大会へ県代表として派遣します。



議長 川口正志氏



副議長 小泉米造氏

六月議会は、議会役員改選期でした。今議会において、議長、副議長選挙が行われた結果、議長に川口正志氏、副議長に小泉米造氏が選ばれました。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

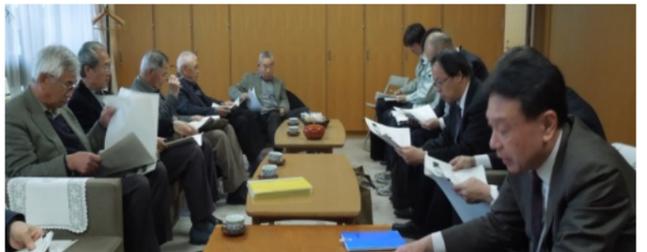
また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。



左側写真上の段は、室生多田の産業廃棄物対策に関して、県並びに市に対して地元の要望を取り次ぎ、対策について話し合いを行った。地元出席は、自治会長さん方、上田、松浦、市議会議員。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

また、東吉野小学校で、川上小学校と算数の遠隔合同授業を行います。

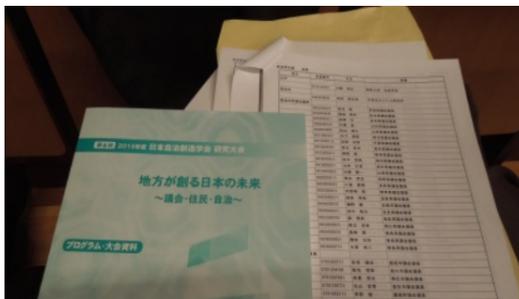


田中ただみつ議員の役職

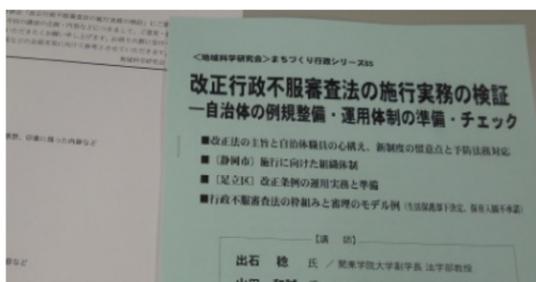
平成二十九年六月議会までの一年間、県の役職は、昨年と比較して、大きく変わっていました。



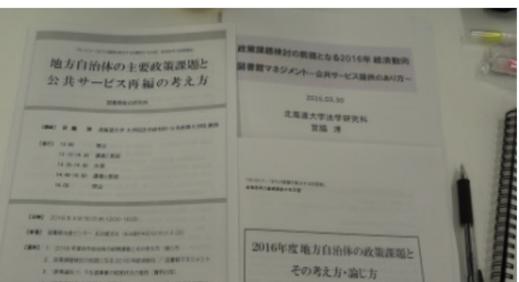
5月19日調査 自治体総合フェア



5月13日調査 日本自治創造学会研究大会



3月29日研修 改正行政不服審査法施行実務の検証



3月30日研修 自治体の政策課題、公共サービス再編



右写真は、七月二十九日に開催された、三重、和歌山、奈良の議員交流会。議題1は紀伊半島における若者の移住・定住の促進について。議題2は大規模災害対策について。議題3は観光振興について話し合った。



⇒写真は、林野庁長官。今年度の森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟の全国連絡会議定時総会が七月二十六日に開催され出席した。今年のテーマは森林環境税を法律として定めること。総会の後、国会議員に説明に出かけた。